

非英語専攻の大学生の英語学習に 関する意識と統語知識： 統語処理のトレーニング教材作成の ための予備調査

森 下 美 和
山 本 誠 子
中 西 の り こ

1. はじめに

大学生全体の中で、非英語専攻の学生の占める割合は、英語専攻の学生に比べて圧倒的に多い。しかしながら、非英語専攻の中でも社会科学系の学生は、英語を EAP (English for academic purposes) や ESP (English for specific purposes) として学ぶことが少なく、学習目標設定が難しい。彼らが自分自身の能力について漠然とした評価しかできていないことが、具体的目標の欠如やモチベーションの低さにつながっている、あるいは、目標があってもそこに至る道筋が見えていない可能性がある。そのため、初級レベルの英語学習者としての彼らの能力およびニーズの現状を把握し、効果的な学習法への示唆を得ることは、喫緊の課題であると言えるだろう。

Levelt (1993) の音声言語モデル (図1) によると、理解 (リスニング) の場合、音響・音声処理装置 (Acoustic-phonetic processor) で、音声信号が音声表象に変換され、文解析装置 (Parser) で、音韻化および語彙選択が行われ、文の概念表象がアウトプットされる。生成 (スピーキング) の場合、概念化装置 (Conceptualizer) で作られたメッセージは、形式化装置 (Formulator) で、文法コード化および音韻コード化され、調音装置 (Articulator) を経てアウトプットされる。

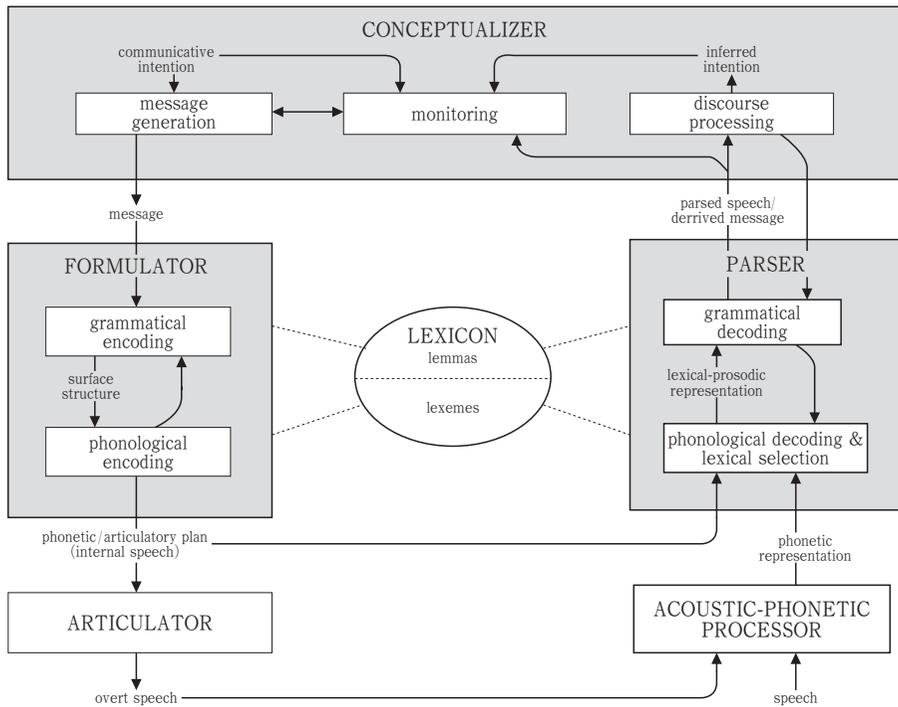


図1. 言語の理解と生成における語彙仮説モデル (Levelt, 1993)

この一連のプロセスは、時間的制約の中で行われるが、母語話者の場合は自動化され、並行処理されていると言われている。このモデルを初級レベルの英語学習者に当てはめた場合、メンタルレキシコン（心的辞書）内に統語表象が十分に形成されていないため、リアルタイムでの文構造の解析や構築、つまり低次の統語処理が苦手であると考えられている (Morishita, Sato, & Yokokawa, 2010 他)。そのため、統語処理の自動化が、英語力全般を高めることにつながると予測できる。

EFL (English as a foreign language) 環境下では、特に音声言語のインプットおよびアウトプットを意識的に行う必要があるため、統語処理と音声面を同時に強化するトレーニングを実施する計画を立てた。そこで、学生の英語力を把握し、トレーニングのレベル設定の参考とするため、2011年4月に、習熟度テスト、英語学習に関する意識調査、語順整序テストの3種類の予備調査を行った。

2. 調査対象者

2011年度、経営学部 に所属する大学1年生で、英語科目（標準英語）を履修する学生は

320名であった。そのうち、筆者たちが授業を担当する217名（9クラス分；最終的な有効データは194名分）を調査対象とした。また、これらのデータとの比較分析のため、他大学の英語専攻の大学2～4年生のデータも併せて収集した。

3. 習熟度テスト

Oxford quick placement test (Oxford University Press, 2001) を使用し、習熟度を調査した。非英語専攻 ($n=194$) と英語専攻 ($n=69$) の大学生の平均スコアは、60点満点でそれぞれ26.1点 (CEFRの A2 レベル； $SD=4.3$) および40.2点 (同じく B2 レベル； $SD=5.0$) であった。Oxford QPT と CEFR (Common European Framework of Reference for Languages; Council of Europe, 2001) との相関を、表 1 に示す。

表 1. Oxford QPT と CEFR との相関表

CEF level	CEF level description		Score
C2	Mastery	(Upper Advanced)	55-60
C1	Effective Proficiency	(Lower Advanced)	48-54
B2	Vantage	(Upper Intermediate)	40-47
B1	Threshold	(Lower Intermediate)	30-39
A2	Waystage	(Elementary)	18-29
A1	Breakthrough		10-17
	(Beginner)		0-9

4. 英語学習に関する意識調査

4-1. 内容

英語学習に関する意識調査および語順整序テストを含む調査用紙を作成し (Appendix Part 1), 授業内で回答させた。本稿では、以下に挙げた 2, 3, 6 番目の質問の回答についてのみ取り挙げる。

- 1) 2 番目の質問：英語における「読む」「書く」「聞く」「話す」「発音」「語彙」「文法」の 7 項目の能力について、得意だと思ふ順に番号をつける
- 2) 3 番目の質問：英語における「読む」「書く」「聞く」「話す」「発音」「語彙」「文法」の 7 項目の能力について、伸ばしたいと思ふ順に番号をつける
- 3) 6 番目の質問：英語における「読む」「書く」「聞く」「話す」「発音」「語彙」「文法」の 7 項目の能力について、希望している業種で必要だと思ふ順に番号をつける

4-2. 分析方法

Excel ファイルを作成し、各自担当クラスの回答のデータ入力を行った。ファイルには、入力ミスのチェック、採点、学生へのフィードバックのためのシートがクラス毎に含まれていた。統計処理では、順位検定を行った (Friedman, Wilcoxon によるペアごとの比較 (Bonferroni の調整))。

4-3. 結果

非英語専攻と英語専攻の大学生の英語学習に関する意識調査の結果について、以下に記載する。

まず、得意だと思ふ順について、表2にまとめる。

表2. 得意だと思ふ順

非英語専攻		英語専攻	
項目	平均ランク	項目	平均ランク
読む	2.09	読む	2.52
	$p < .05$		$p < .05$
語彙	3.23	書く	3.52
	$p < .05$		<i>ns</i>
文法	4.11	聞く	3.53
	<i>ns</i>		<i>ns</i>
発音	4.21	文法	3.76
	<i>ns</i>		$p < .05$
書く	4.23	発音	4.76
	<i>ns</i>		<i>ns</i>
聞く	4.37	語彙	4.85
	$p < .05$		<i>ns</i>
話す	5.76	話す	5.06

表内の数値は、平均順位を示しており、数値が低いほど得意だと思っていることを表す。非英語専攻と英語専攻のいずれのグループも、「読む」ことが最も得意で、「話す」ことが最も苦手であると思っていることが分かった。しかしながら、英語専攻の学生（読む＝2.52、話す＝5.06）のほうが、非英語専攻の学生（読む＝2.09、話す＝5.76）よりも、2項目の順位を表す数値の差がやや小さかった。このことは、非英語専攻の学生と比べて、彼らの特定の項目に対する苦手意識があまり偏っていないことを示していると言えるかもしれない。

また、「読む」の次に得意だと思ふ項目については、非英語専攻の学生は「語彙」「文法」、英語専攻の学生は「書く」「聞く」と、まったく異なっていた。学年の違いが影響してい

る可能性もあるが、前者には受験英語の名残があるため、後者には授業内外で実際に英語を使用する機会が多いため、という理由が考えられる。

次に、伸ばしたいと思う順について、表3にまとめる。

表3. 伸ばしたいと思う順

非英語専攻		英語専攻	
項目	平均ランク	項目	平均ランク
話す	2.27	話す	1.71
	$p < .05$		$p < .05$
聞く	2.92	聞く	3.24
	$p < .05$		$p < .05$
書く	3.91	発音	3.96
	ns		ns
読む	4.09	書く	4.17
	$p < .05$		ns
文法	4.67	語彙	4.23
	ns		$p < .05$
語彙	5.05	読む	4.73
	ns		$p < .05$
発音	5.09	文法	5.97

数値が低いほど、伸ばしたいと思っていることを表す。非英語専攻と英語専攻のいずれのグループも、「話す」ことと「聞く」ことを最も伸ばしたいと思っていることが分かった。しかしながら、非英語専攻では、「話す」ことを伸ばしたいと思っているにもかかわらず、「発音」にはあまりこだわらない。また、「文法」「語彙」については、表2で見られるように、それほど苦手意識がないためか、伸ばしたいと思う順位は低い。一方、英語専攻では、上位3項目が音声言語に関わるものであり、苦手意識をそれほど持っていない項目についても、もっと伸ばしたいと感じていると推測できる。

これらのことから、習熟度に関わらず、「話す」ことが、学生が最も苦手だと思っていると同時に、最も伸ばしたい項目であることが分かった。しかし、非英語学習者の場合、「話す」ことに必要不可欠な「語彙」と「文法」に対する苦手意識をそれほど持っていない（重要性に気付いていない）ことから、これらを結び付けるようなトレーニングの必要性が示唆された。

最後に、自分の希望する仕事で必要だと思う順について、表4にまとめる。

表4. 仕事で必要だと思う順

非英語専攻		英語専攻	
項目	平均ランク	項目	平均ランク
話す	2.05	話す	2.29
$p < .05$		$p < .05$	
聞く	2.61	聞く	3.25
$p < .05$		$p < .05$	
読む	3.97	読む	4.10
$p < .05$		<i>ns</i>	
書く	4.38	書く	4.27
<i>ns</i>		<i>ns</i>	
発音	4.55	語彙	4.29
<i>ns</i>		<i>ns</i>	
語彙	4.83	発音	4.52
$p < .05$		$p < .05$	
文法	5.62	文法	5.30

数値が低いほど、仕事で必要だと思っていることを表す。非英語専攻と英語専攻のいずれのグループも、上から4項目までがまったく同じであり、特に「話す」と「聞く」ことが最も必要だと思っていることが分かった。上から4項目は、いわゆる英語の4技能と称されるものであるため、実際の使用環境を想像すれば、納得のいく結果であると思われる。

両グループとも「文法」がもっとも必要でないと思っているが、実際に仕事を始めてから「文法」を一から勉強する時間はないからこそ、大学のうちにしっかり学んでおく必要があるとも考えられるだろう。

5. 語順整序テスト

5-1. 内容

学生の統語知識の測定をすることにより、トレーニング教材とそれに伴う事前・事後テストのレベル設定をすることを目的とした。レベルは3段階に分けることとし、オンライン上で公開されていた英検(2010年度第3回)の4級、3級、準2級の語順整序問題を、それぞれ5問ずつ使用してテストを作成した。ただし、実際の3、4級の問題では、2番目と4番目に来る語句の番号の正しい組み合わせを選ぶようになっており(「1と2」など)、準2級の問題では、2番目と4番目に来る語句の番号をそれぞれ書くようになっている(2番目が「1」で4番目が「2」など)。また、3、4級の問題では日本語訳も与えられているため、本調査の問題は、実際の問題よりも多少難易度が高かった可能性が

ある。

以下に各問題 (Appendix Part 2) の正解文と特徴, および各級の問題傾向をまとめる。

<正解文>

1. How (did your sister do on) the English test?
2. My (mother and I were watching DVDs) yesterday afternoon.
3. Could you (show me a map of the city)?
4. Helen (likes to write stories when) she has time.
5. Mr. Smith, (do we need a calculator for) the math test?
6. (How often does your baseball team practice)?
7. I (am thinking about going to Europe) next summer.
8. (I don't have time to make dinner) tonight, so let's order a pizza.
9. (How long does it take to walk) from your house to the post office?
10. (The best place for buying vegetables is the supermarket) on Main Street.
11. Simon had a bad day at school today. (His classmates made fun of him) because he fell asleep in class.
12. Haruko moved to China last year. She could not speak much Chinese at first, but since then (her Chinese has gotten better little by) little.
13. Richard does not like to spend money on himself, but (when it comes to his) children, he is always happy to buy presents.
14. Natalie got a silver necklace from her boyfriend last year. She likes to (wear it wherever she goes).
15. Paul is always telling his teammates what to do. They sometimes get angry with him because he talks to them (as if he were the coach).

<各問題の特徴>

1. WH 疑問文, 3 単元の s (did と do を入れ替える傾向あり)
2. 過去進行形
3. 依頼文 (命令形)
4. 3 単元の s (write と likes を入れ替える傾向あり), 接続詞
5. Yes/No 疑問文
6. WH 疑問文, 無生物主語

7. 現在進行形, 動詞の用法 (前置詞+動名詞)
8. have time to ~ という表現, 文脈からの推測
9. WH 疑問文, 慣用表現
10. 動詞の用法 (前置詞+動名詞), 長い文 (SVC) の処理 (カッコ外の on Main Street を読み落とし, The supermarket ... is the best place. とする傾向あり)
11. 慣用表現
12. 現在完了形, 慣用表現
13. 慣用表現
14. wherever の意味と用法
15. 慣用表現, 仮定法

<各級の問題傾向>

1～5 (4級): 基本的な文法知識が問われる

6～10 (3級): 一から文を作成する能力が問われる, 文脈による推測や慣用表現の知識なども徐々に必要になってくる

11～15 (準2級): 文脈重視 (推測しやすい), 慣用表現の知識がほとんどであるため, 語彙力と読解力が問われる

5-2. 結果

非英語専攻と英語専攻の大学生の平均スコアは, 80点満点 (正しい順序に並べた1つの語句につき1点) でそれぞれ57.8点 ($SD=12.6$) および71.9点 ($SD=14.9$) であった。非英語専攻の大学生が各レベルで5問中何問正解していたかを比較すると, レベル間の平均は, 4級 (4.2問) > 準2級 (3.6問) > 3級 (3.2問) の順に低下していた。準2級の問題よりも3級の問題の正答率のほうが低かった理由としては, 前者では慣用句の知識を問う傾向が強く, 既存の知識で解ける問題がやや多かったことが影響した可能性がある。

全体的に成績が良かったのは, 基本文法 (5文型), WH 疑問文, 慣用句で, 間違いが多かったのは, 動詞の用法, Yes/No 疑問文, 長文の処理などであった。英検3級レベル (中学卒業程度) の問題においても誤答が散見されたことから, 3級レベルの問題からトレーニングをスタートする必要があることが示唆された。

6. アンケート調査 (自由記述)

英語学習に関する意識調査の最後に, 今までの経験の中で, 英語学習に役立った/うま

く行かなかったと思う方法を書かせた。以下に、非英語専攻の学生のコメントを、一部抜粋して示す。

- ・単語テストはよく頭に入るが、すぐ忘れてしまうので、繰り返して何回も覚えるのが大事だと分かった。
- ・単語やイディオムはひたすらノートに書いて、常に英語が目につくようにしたのは良かった。
- ・単語を覚えるのに、ただ書くのではなく、文章（フレーズ）などを声に出して勉強した方が、耳に残り覚えやすい。また、CD付きの単語帳だと正しい発音も覚えられる。
- ・単語を覚える時に、その単語を発音しながら10回程書くと、割と覚えやすかった。ただ、しばらくその単語を見直したりしないと、すぐに忘れてしまった。
- ・音読がとても大切だと思った。単語・文法・イディオムなど、毎日目を通してないとすぐに忘れてしまうと思うので、英語は継続が重要だと思う。
- ・文章を読む事により、単語も覚えられた。その文章を読む時、聞いたり言ったりすると、とても苦手なりスニングができるようになった。
- ・音読を続けていると、長文を読むスピードが速くなっていったので、効果的だと思う。
- ・文法をしっかりと覚え、英文を読解する事は英語学習に役立った。英単語を何度も書いて覚えるより、前後の文脈から英単語の意味を考え、意識しながら覚える方が覚えやすかった。
- ・繰り返してやること。聞いたものをまねすること。
- ・英文を声に出して読むことや洋楽などを聞いたりすることは役立ったと思う。
- ・海外ドラマを見たり、洋楽を聞いていると、なんとなく英語が以前より聞き取れるようになった気がする。
- ・好きな洋楽を聴いていて、知っている文法などが聞こえてくるとうれしいし、覚えることができる。
- ・映画を見ている時にところどころでセリフの内容が分かったり、単語がどう使われるかを理解することができた。
- ・字幕で映画を見ながら、聞き取って意味を把握できたときはうれしい。
- ・高校の授業の中で、英語で話したり、発表したりすることが多かった。声に出して覚えると覚えやすかった。
- ・高校の時、ALTの先生が自分に話しかけてきてくれた。中学レベルの英語だけで会話が出来て、とてもうれしかった。

- ・京都旅行中、外国の方に道を聞かれた。友人と必死になって伝えたら、役に立てた。
- ・他国の人と関わりを持って積極的にメール交換や手紙交換をする。また、ケータイの日本語表示を英語に思いきって変える。

全体として、多くの学生が、「繰り返し」「音読」など、英語教育において重要視されている方法の効果に気付いていた。特に、音読が単語の暗記やリスニングなどに幅広く役立ったというコメントが多かった。

また、洋楽や映画を楽しむことが学習につながった、L1 英語話者による授業が楽しかった、道案内やアルバイト先でのコミュニケーションがうまく行ったなど、生の英語に触れることの効果を実感している回答も多く見られた。L1 英語話者と話す機会では、成功と失敗の両方の経験があるようだが、いずれにしても良い刺激になったという感想が目立った。

これらの結果から、学生は、特に音声言語の学習において効果のある方法をいくつか知っており、ある程度実践しているが、(今回の語順整序テストの結果を見れば)必ずしも効果的に実践できているとは限らないということが分かった。

7. ま と め

本学の経営学部の場合、将来的にはビジネスにおいて海外とのやり取りをする可能性があるにも関わらず、英語に苦手意識を持つ学生が目立つ。しかしながら、彼らは「話す」と「聞く」、つまり音声言語を苦手だと考えているが、同時にそれらを伸ばしたいという意欲もあり、就職先として希望している業種でも特に必要であると考えていることが明らかになった。しかし、語順整序テストでは、英検3級レベル(中学卒業程度)の問題においても誤答が散見された。このことから、文字によるテストであっても正解することが難しい学生が、「話す」「聞く」などの音声言語における処理能力を伸ばすためには、文法・音韻コード化(図1)などのトレーニングが不可欠であることが示唆された。

本研究の結果を基に、今後は、学生が英語力とモチベーションを同時に高めることができるようなトレーニング教材を開発して行きたい。

参 考 文 献

- Council of Europe. (2001). *Common European framework of reference for languages: Learning, teaching, assessment*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Levelt, W. J. M. (1993). The architecture of normal spoken language use. In G. Blanken, J. Dittman, H. Grimm, J. C. Marshall, & C-W. Wallesch (Eds.), *Linguistic disorders and pathologies: An interna-*

tional handbook (pp. 1-15). Berlin: Walter de Gruyter.

Morishita, M., Sato, H. & Yokokawa, H. (2010). Verb lexical representation of Japanese EFL learners: Syntactic priming during language production. *Journal of the Japan Society for Speech Sciences*, 11, 29-43.

Oxford University Press. (2001). *Quick placement test*. Oxford: Oxford University Press.

Appendix

英語学習に対する意識調査、語句並び替えテスト

曜 限 クラス 学籍番号

--	--	--	--	--

 名前

<Part 1. 英語学習に対する意識調査>

1 右のうち受験経験があるものに○印をつけ、一番最近の受験年を記入してください。	英検 (年)	GTEC (年)	TOEIC Bridge (年)	TOEIC (年)
--	------------	--------------	----------------------	---------------

2 英語力に関する下の能力のうち、あなたが得意だと思う順に番号をつけてください。

英文を読む	英文を書く	英語を聞く	英語を話す	英語の発音	英語の語彙	英語の文法
番	番	番	番	番	番	番

3 英語力に関する下の能力のうち、あなたが伸ばしたいと思う順に番号をつけてください。

英文を読む	英文を書く	英語を聞く	英語を話す	英語の発音	英語の語彙	英語の文法
番	番	番	番	番	番	番

4 現在あなたが希望している業種を下から選び第2希望まで数字で答えてください。

- | | | |
|--------------|-----------------|-------------|
| 1. メーカー(製造業) | 4. 建築・運輸・倉庫・不動産 | 7. 公務員・教育関係 |
| 2. 貿易・商事 | 5. 報道・出版・情報・通信 | 8. 医療・福祉 |
| 3. 金融・保険・証券 | 6. 旅行・サービス・小売業 | 9. その他 |

第1希望
第2希望
第1希望
第2希望

5 上で選んだ仕事であなたはどのくらい英語を使う機会がありそうですか。
問10で選んだそれぞれの業種について、下から1つずつ選び、数字で答えてください。

- | | | | |
|-------------|------------|----------|---------|
| 1. まったく使わない | 2. あまり使わない | 3. たまに使う | 4. よく使う |
|-------------|------------|----------|---------|
- 問7へ ↓↓問6へ↓↓

6 問5で選んだそれぞれの業種について、あなたが仕事で必要だと思う順に番号をつけてください。

第1希望	英文を読む	英文を書く	英語を聞く	英語を話す	英語の発音	英語の語彙	英語の文法
	番	番	番	番	番	番	番
第2希望	英文を読む	英文を書く	英語を聞く	英語を話す	英語の発音	英語の語彙	英語の文法
	番	番	番	番	番	番	番



7 あなたはどのような発音で英語を話したいですか。最も当てはまるものを1つ選び、数字で答えてください。

1. ネイティブスピーカーと同じような発音で英語を話せるようになりたい。
2. 言いたいことが相手に伝わるのであれば、発音にはこだわらない。
3. 英語発音の中に自分の母語である日本語の特徴を残しておきたい。

1つ

8 自分の英語発音に関して、あなたが重視することがらに近いものを下から2つ選び、数字で答えてください。

1. 英語でコミュニケーションをとれるようになりたい。
2. 英語を趣味、娯楽で使いたい。
3. 英語学習をがんばりたい。
4. 英語が好きだ。
5. 英語が嫌いだ。
6. 英語の発音を良くすることは重要だ。
7. 英語の発音はさほど重要でない。
8. 英語は将来必要だ。
9. 最低限のことができれば、英語ばかりにこだわる必要はない。

1つ目

2つ目

9 あなたのこれまでの経験の中で、英語学習に役立った／うまくいかなかったと思う方法を書いてください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

! STOP !

合図があるまで

裏側のページには進まないでください。

8	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div> <p>(to make , have , don't , time , dinner , I) tonight, so let's order a pizza.</p>
9	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div> <p>(does , to walk , long , how , take , it) from your house to the post office?</p>
10	<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div> <p>(the best , vegetables , for buying , place , the supermarket , is) on Main Street.</p>
11	<p>Simon had a bad day at school today. (fun , him , his classmates , of , made) because he fell asleep in class.</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div>
12	<p>Haruko moved to China last year. She could not speak much Chinese at first, but since then (has , little , gotten better , by , her Chinese) little.</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div>
13	<p>Richard does not like to spend money on himself, but (comes , his , it , when , to) children, he is always happy to buy presents.</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div>
14	<p>Natalie got a silver necklace from her boyfriend last year. She likes to (she , it , wherever , goes , wear).</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div>
15	<p>Paul is always telling his teammates what to do. They sometimes get angry with him because he talks to them (he , as , the coach , if , were).</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 40px; margin: 0 auto;"></div> </div>